

平成29年度公立高等学校・中等教育学校(後期課程)における
英語教育実施状況調査

※調査基準日は、指定がない場合、平成29年12月1日現在とする。

注1) 定時制及び通信制の課程はどちらも本調査の対象ではない。
分校がある場合は、分校と本校をまとめて1校とする。

注2) 本調査における「学校等」とは、高等学校及び中等教育学校後期課程のことを指す。

1. 学校及び学科について

1-(1) 学校数	3,369
-----------	-------

1-(2) 学科の数

高等学校設置基準第5条及び第6条の区分により学校に設置されている学科の数を記入

学科の区分	設置数
①普通科	2,314
②専門教育を主とする学科 (③、④の学科を除く)	1,943
③英語教育を主とする学科	86
④国際関係に関する学科	56
⑤総合学科	314
総学科数(①～⑤)	4,713

- ①：高等学校設置基準第6条第1項の学科の数
- ②：高等学校設置基準第5条第2号の学科の数
- ③：高等学校設置基準第6条第2項第13号の学科のうち、英語教育を主とする学科の数
- ④：高等学校設置基準第6条第2項第14号の学科の数
- ⑤：高等学校設置基準第6条第3項の学科の数

2. 生徒の英語力に関すること

2-(1) 生徒の英語力の状況

注) 「英検準2級以上相当の英語力を有する」と思われる生徒数とは、実際に英検準2級以上は取得していないが、それに相当する英語力を有していると英語担当教員が判断する生徒の人数を指す。

	高等学校第3学年に所属している生徒数…(a)	(a)の内、英検を受験したことがある生徒数…(b)	(b)の内、英検準2級以上を取得している生徒数…(c)	(a)の内、英検準2級以上相当の英語力を有すると思われる生徒数[(c)以外]
①普通科	468,985 人	200,418 人	87,841 人	149,195 人
②専門教育を主とする学科(③、④の学科を除く)	180,813 人	33,377 人	9,684 人	14,466 人
③英語教育を主とする学科	5,628 人	4,022 人	3,202 人	2,056 人
④国際関係に関する学科	3,291 人	2,706 人	2,084 人	697 人
⑤総合学科	50,194 人	12,070 人	3,855 人	5,333 人
計(①～⑤)	708,911 人	252,593 人	106,666 人	171,747 人

2-(2) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況

注1) 「CAN-DOリスト形式による学習到達目標」とは、英語を使って実際に何をすることができるようになるのか、その能力を技能別に記述したものを指す。

注2) 「公表」とは、「学校だより」で紹介したり、学校のホームページに掲載したりなどすることで、生徒、保護者及び地域住民に広く伝える状態のことを指す。

注3) 「達成状況の把握」とは、テスト等の実施により、設定した学習到達目標の達成状況を客観的に把握している状態を指す。

	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している学科数…(a)	(a)の内、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している学科数…(b)	(a)の内、学習到達目標の達成状況を把握している学科数…(c)
①普通科	2,171 学科	926 学科	1,214 学科
②専門教育を主とする学科(③、④の学科を除く)	1,844 学科	751 学科	992 学科
③英語教育を主とする学科	86 学科	35 学科	48 学科
④国際関係に関する学科	54 学科	26 学科	30 学科
⑤総合学科	300 学科	116 学科	163 学科
合計(①～⑤)	4,455 学科	1,854 学科	2,447 学科

3. 英語を使用する機会の増加に関すること

3-(1)授業における、生徒の英語による言語活動時間の割合

※「外国語(英語)」の授業において、ペア・ワークやグループ・ワーク等を含めて生徒が英語で言語活動をしている時間の、1単位時間の授業に占める割合(%)

注1) ペア・ワークやグループ・ワーク等とは、生徒間での英語を用いたやり取りを基本とする。

ただし、教員が英語を用いて生徒とやり取りを行う時間等も含めること。

注2) 言語活動とは、現行の高等学校学習指導要領に規定されている言語活動のこと。「話すこと」だけではなく、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動も含む。

例1:「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。」

また、聞き手に伝わるように言語する。」「(コミュニケーション英語Ⅰ)の言語活動のイ)

例2:「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。」「(コミュニケーション英語Ⅰ)の言語活動のウ)

注3) 英語担当教員とは、教員免許「外国語」を所有し、かつ調査時点で英語の授業を担当している者(校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師(常勤に限る))を指す。非常勤講師及び臨時任用の者は除く。(以下、4の①～④及び5と同様)

注4) 該当学科ごとに、1単位時間(50分)で生徒が英語を用いて言語活動している時間のおおよその割合に当該科目を担当する教員数を記入すること。なお、授業を開設していない場合には記入を要しない。

①普通科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,418	6,781
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,739	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,057	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	567	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,222	6,901
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,740	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,242	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	697	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	723	6,107
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,892	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,338	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	1,154	

(エ)「英語表現Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	833	6,563
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,176	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,575	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	979	

(オ)「英語表現Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	797	8,389
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,487	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	3,517	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	1,588	

②専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く)

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	390	3,198
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,114	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1,317	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	377	

③英語教育を主とする学科

(イ)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	302	2,957
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	984	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1,250	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	421	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	106	751
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	278	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	253	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	114	

(エ)「英語表現Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	181	1,606
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	527	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	688	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	230	

(オ)「英語表現Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	95	796
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	269	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	307	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	125	

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	15	21
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	5	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	0	

(イ)「総合英語」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	111	256
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	93	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	43	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	9	

(ウ)「異文化理解」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	125	194
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	46	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	19	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	4	

④国際関係に関する学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	13	22
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	7	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	0	

(イ)「総合英語」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	119	218
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	64	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	31	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	4	

(ウ)「異文化理解」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	73	107
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	14	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	17	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	3	

⑤総合学科

(7)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	95	1,013
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	366	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	425	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	127	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	98	978
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	328	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	390	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	162	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	47	565
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	175	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	242	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	101	

(エ)「英語表現Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	71	745
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	227	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	333	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	114	

(オ)「英語表現Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	33	462
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	111	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	255	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	63	

3-(2)「話すこと」及び「書くこと」における「外国語表現の能力」を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの状況

- 注1) 「実施回数」とは、当該学科・学年の生徒全員を対象としたテストの回数を指す。
 注2) 音読に関するテストは、本調査においては、「読むこと」の技能を評価するものとし、スピーキングテストに含めない。
 注3) ライティングテストは定期考査における出題も含む。ただし、学習指導要領に示す言語活動(例:「コミュニケーション英語Ⅰ」であれば、「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く」)などに沿った出題・評価とし、語彙、語法、文法知識のみを問うような問題は含めない。

①普通科における実施の有無及び実施回数

【本年度実施した、あるいは本年度中にパフォーマンステストを実施する計画が明らかにある場合は、「実施した」の欄に「1」を入力する。それ以外は「実施しない」に「1」を入力する。】

	実施した	実施しない	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	1,591	696	27
(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	1,457	819	38
(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	903	1,079	332
(エ)「英語表現Ⅰ」	1,496	709	109
(オ)「英語表現Ⅱ」	1,249	546	519

※上記の項目において、実施した場合、次の項目について実施回数を記入。(実施予定を含む)

	(ア)コⅠ	(イ)コⅡ	(ウ)コⅢ	(エ)英表Ⅰ	(オ)英表Ⅱ
スピーチ	1,307	1,083	511	980	661
インタビュー(面接)	1,193	1,054	476	753	391
プレゼンテーション	1,124	1,027	442	843	540
ディスカッション	167	232	218	113	140
ディベート	117	192	91	121	198
スピーキングテスト総合計	3,908	3,588	1,738	2,810	1,930
ライティングテスト(エッセイ等)	1,988	2,151	1,374	3,214	4,350
その他(※下記に詳細記述)	120	108	83	66	59

※「その他」を選択した学科がある場合、その内容を記述する(同様の内容のものほまとめる)。

②専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く)が複数ある場合の実施の有無及び実施回数

注) 専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く)が複数ある場合は、それぞれの学科について回答する。例えば、専門教育を主とする学科が2つあり、共に実施の場合は、実施したの欄に「2」を入力し、また、2つの学科が「実施した」「実施しない」の場合はそれぞれ別の欄に「1」を入力する。

	実施した	実施しない	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	1,208	697	38
(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	954	650	339
(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	209	308	1,425
(エ)「英語表現Ⅰ」	752	442	748
(オ)「英語表現Ⅱ」	270	166	1,506

※上記の項目において、実施した場合、次の項目について実施回数を記入。(実施予定を含む)

注) 学科が複数ある場合は、全ての学科の実施回数の和を入力する。

	(ア)コⅠ	(イ)コⅡ	(ウ)コⅢ	(エ)英表Ⅰ	(オ)英表Ⅱ
スピーチ	1,129	795	133	531	121
インタビュー(面接)	1,203	718	80	414	57
プレゼンテーション	795	649	123	506	129
ディスカッション	87	95	59	73	34
ディベート	26	41	14	47	59
スピーキングテスト総合計	3,240	2,298	409	1,571	400
ライティングテスト(エッセイ等)	1,436	1,330	282	1,262	779
その他(※下記に詳細記述)	82	75	13	14	2

※「その他」を選択した学科がある場合、その内容を記述する(同様の内容のものほまとめる)。

③英語教育を主とする学科における実施の有無及び実施回数

	実施した	実施しない	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	8	4	74
(イ)「総合英語」	68	14	4
(ウ)「異文化理解」	71	9	6

※上記の項目において、実施した場合、次の項目に実施回数を記入(予定を含む)

	(ア) コI	(イ) 総英	(ウ) 異理
スピーチ	9	120	75
インタビュー(面接)	9	55	48
プレゼンテーション	8	130	123
ディスカッション	2	31	55
ディベート	2	25	29
スピーキングテスト総合計	30	361	330
ライティングテスト(エッセイ等)	13	193	174
その他(※下記に詳細記述)	2	29	13

※「その他」を選択した学科がある場合、その内容を記述する(同様の内容のものはとめる)。

④国際関係に関する学科における実施の有無及び実施回数

	実施した	実施しない	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	8	3	45
(イ)「総合英語」	48	7	1
(ウ)「異文化理解」	42	5	9

※上記の項目において、実施した場合、次の項目に実施回数を記入(予定を含む)

	(ア) コI	(イ) 総英	(ウ) 異理
スピーチ	10	67	58
インタビュー(面接)	1	54	14
プレゼンテーション	6	83	88
ディスカッション	1	62	21
ディベート	2	25	8
スピーキングテスト総合計	20	291	189
ライティングテスト(エッセイ等)	19	149	103
その他(※下記に詳細記述)	0	3	1

※「その他」を選択した学科がある場合、その内容を記述する(同様の内容のものはとめる)。

⑤総合学科の実施における有無及び実施回数

	実施した	実施しない	授業を開講していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	207	99	8
(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	180	125	9
(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	124	98	92
(エ)「英語表現Ⅰ」	194	91	29
(オ)「英語表現Ⅱ」	130	47	137

※上記の項目において、実施した場合、次の項目について実施回数を記入。(実施予定を含む)

	(ア) コⅠ	(イ) コⅡ	(ウ) コⅢ	(エ) 英表Ⅰ	(オ) 英表Ⅱ
スピーチ	194	172	117	160	173
インタビュー(面接)	188	155	91	126	56
プレゼンテーション	169	112	74	93	87
ディスカッション	7	26	29	5	20
ディベート	3	1	5	7	11
スピーキングテスト総合計	561	466	316	391	347
ライティングテスト(エッセイ等)	236	223	130	403	295
その他(※下記に詳細記述)	11	25	15	1	1

※「その他」を選択した学科がある場合、その内容を記述する(同様の内容のものはとめる)。

4. 英語担当教員の英語力・指導力等に関すること

4-(1)英語担当教員の英語力の状況

注1)「英語能力に関する外部試験」とは、英検、TOEFL、TOEIC、IELTS、カンブリッジ英検、GTEC CBT等を指す。

注2)「英検準1級以上等に相当する」とは、英検準1級、TOEFL-PT550点以上、TOEFL-CBT213点以上、TOEFL-IT80点以上、TOEIC730点以上とする。【第2期教育振興基本計画】

注3)上記の注2)以外の外部試験については、CEFR(外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)B2レベル以上に該当する場合は、「英検準1級以上等に相当する」とこととする。

該当教員数・・・(a)	(b)の内、英語能力に優する外部試験を受験した経験のある英語担当教員数・・・(b)・・・(c)	(b)の内、英検準1級以上の外部試験を受験した経験のある英語担当教員数・・・(c)
22,948 人	19,017 人	15,018 人

※CEFRのB2レベル以上に該当するか否かについては、「英語力評価及び入学者選抜における資格・検定試験の活用促進について」(平成27年3月31日付け26文科初第1495号)などの通知や、英語4技能資格・検定試験懇談会による「英語4技能試験情報サイト」(<http://4skills.okken.or.jp/>)における「資格・検定試験CEFRとの対照表」などを参考にすること。

4-(2)英語担当教員の海外留学経験等の状況

注1) (b)「海外留学経験等」とは、海外にある学校や研修施設等へ通った実績を指す。高等学校卒業段階までに海外に在留し、現地に在留した学校(日本人学校を除く。)へ通った経験も含む。

該当教員数・・・(a)	(a)のうち、海外留学経験等のある英語担当教員数・・・(b)		
	1ヶ月未満	1ヶ月以上～半年未満	半年以上～1年以上～
22,948 人	3,700 人	3,176 人	2,604 人

4-(3)英語担当教員に対する集中的な研修の実施状況（平成28年度実績）

注1) 本設問における「集中的な研修」とは、高等学校の英語担当教員を対象として、複数日にわたって学習指導要領に基づく授業の展開方法や、具体的な言語活動の指導や評価の方法などについて理解と実践を深めることで指導力の向上を図る研修（小学校教員や中学校英語担当教員との合同研修も含む）のことを指す。研修が漸進的に複数日にわたって行われる場合も含めること。
注2) 研修の受講が、自費によるものか公費によるものかは問わない。

【平成28年度実績】

市町村教育委員会が主催した研修	都道府県・指定都市教育委員会 が主催した研修				
	国内で実施した 研修	海外で実施した 研修	国内で実施した 研修	海外で実施した 研修	
実施した教育委員会の数	5	0	55	14	
研修を受講した教員数	14人	0人	8,570人	101人	

民間・財団法人等が主催した研修	国内で実施した 研修	海外で実施した 研修	
	2,586人	155人	

4-(4)英語担当教員による校内研修等の実施状況（平成28年度実績）

① 英語担当教員同士の授業公開の実施			合計
実施している	2,872校	実施していない	496校
② 英語担当教員による指導と評価に関する研修の実施			合計
実施している	2,080校	実施していない	1,288校

5. 授業における英語担当教員の英語使用状況

①普通科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	科目を担当する英語担当教員総数	6,781人
-------------------	-----------------	--------

発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	該当する英語担当教員数	合計
	1,325	
	2,769	6,781
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,687	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

科目を担当する英語担当教員総数	6,901人
-----------------	--------

発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	該当する英語担当教員数	合計
	1,068	
	2,711	6,901
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	3,122	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

科目を担当する英語担当教員総数	6,107人
-----------------	--------

発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	該当する英語担当教員数	合計
	572	
	1,993	6,107
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	3,542	

(エ)「英語表現Ⅰ」

科目を担当する英語担当教員総数	6,563人
-----------------	--------

発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	該当する英語担当教員数	合計
	656	
	2,185	6,563
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	3,722	

(オ)「英語表現Ⅱ」

科目を担当する英語担当教員総数	8,389人
-----------------	--------

発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	該当する英語担当教員数	合計
	544	
	2,423	8,389
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	5,422	

②専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く。)

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	3,198 人
科目を担当する英語担当教員総数	

該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	367
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,153
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	1,678
	3,198

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	2,957 人
科目を担当する英語担当教員総数	

該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	270
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,081
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	1,606
	2,957

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	751 人
科目を担当する英語担当教員総数	

該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	86
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	308
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	357
	751

(エ)「英語表現Ⅰ」	1,606 人
科目を担当する英語担当教員総数	

該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	163
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	532
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	911
	1,606

(オ)「英語表現Ⅱ」

科目を担当する英語担当教員総数	796 人
-----------------	-------

該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	77
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	266
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	453
	796

③英語教育を主とする学科

(7)「コミュニケーション英語Ⅰ」	21 人
科目を担当する英語担当教員総数	

該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	13
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	7
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	1
	21

(イ)「総合英語」	256 人
科目を担当する英語担当教員総数	

該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	119
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	97
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	40
	256

(ウ)「異文化理解」	194 人
科目を担当する英語担当教員総数	

該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	126
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	39
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	29
	194

④国際関係に関する学科

(7)「コミュニケーション英語Ⅰ」

科目を担当する英語担当教員総数		22 人
該当する英語担当教員数	合計	
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	14	
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	5	22
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	3	

(イ)「総合英語」

科目を担当する英語担当教員総数		218 人
該当する英語担当教員数	合計	
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	121	
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	64	218
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	33	

(ウ)「異文化理解」

科目を担当する英語担当教員総数		107 人
該当する英語担当教員数	合計	
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	70	
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	23	107
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	14	

⑤総合学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

科目を担当する英語担当教員総数		1,013 人
該当する英語担当教員数	合計	
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	84	
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	393	1,013
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	536	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

科目を担当する英語担当教員総数		978 人
該当する英語担当教員数	合計	
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	67	
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	349	978
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	562	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

科目を担当する英語担当教員総数		565 人
該当する英語担当教員数	合計	
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	29	
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	194	565
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	342	

(エ)「英語表現Ⅰ」

科目を担当する英語担当教員総数		745 人
該当する英語担当教員数	合計	
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	53	
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	240	745
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	452	

(オ)「英語表現Ⅱ」

科目を担当する英語担当教員総数		462 人
該当する英語担当教員数	合計	
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	13	
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	125	462
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	324	

6. 外国語指導助手(ALT)等の活用状況

注) 各自治体や学校によって様々な呼称があると考えられるが、本調査における「外国語指導助手(ALT)」とは、英語の授業などで、計画的・継続的に活用している外国人のことを指す。英語以外の外国語を担当するALTは含まないこと。

6-(1)ALT等の活用人数の状況

- 注1) 人数は、年間の契約人数の総数ではなく、調査基準日時点での人数を回答すること。
 注2) 「高等学校におけるALT活用人数…(a)」とは、中学校等と兼務している人数も含む。同一のALTが複数の高等学校で活用されている場合は、いずれか1つの学校のみをカウントすること。
 注3) 「自治体が独自に直接任用しているALT」とは、JETプログラム以外で教育委員会が直接任用契約を結んでいるALTのこと。
 注4) 「派遣契約によるALT」とは、派遣先(教育委員会)と派遣契約を結んだ派遣元(会社)により派遣されるALTのこと。
 注5) 「請負契約によるALT」とは、注文主(教育委員会)と請負契約を結んだ請負業者(会社)により派遣されるALTのこと。
 注6) 「その他のALT等」とは、ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地成人材で、以下の(ア)～(エ)に該当しない者などが含まれる(日本人、留学生等も含む)。なお、「その他のALT等(日本人)」とは、第一言語を日本語とする者とし、「その他のALT等(外国人)」とはそれ以外の者とする。

	(a)のうち、高等学校におけるALT等活用人数…(a)	(a)のうち、小学校校とのみ兼務するALT等活用人数	(a)のうち、中学校校とのみ兼務するALT等活用人数	(a)のうち、小学校校及び中学校校と兼務するALT等活用人数
(ア)JETプログラムによるALTの人数	1,652人	3人	72人	11人
(イ)自治体が独自に直接任用しているALTの人数	431人	4人	18人	22人
(ウ)派遣契約によるALTの人数	186人	0人	5人	1人
(エ)請負契約によるALTの人数	254人	5人	6人	5人
(オ)その他のALT等の人数(日本人)	8人	0人	0人	0人
(カ)その他のALT等の人数(外国人)	142人	6人	7人	15人
(キ)上記の他、「補習等のための指導員」派遣事業のうち、高等学校英語で活用している人数	3人	0人	0人	0人

6-(2)ALTの任用・契約形態の状況

- 注1) 複数回答可。
 注2) 英語以外の外国語を担当するALTは含まないこと。
 注3) 「その他の方法によりALTを活用している自治体の数」には、6-(1)の(オ)～(キ)でALTを活用している学校を配置する自治体の数を回答すること。

	都道府県	指定都市	市町村
JETプログラムによりALTを任用している自治体の数	42	9	41
独自でALTを直接任用している自治体の数	9	9	24
派遣契約によりALTを活用している自治体の数	4	3	3
請負契約によりALTを活用している自治体の数	6	3	7
その他の方法によりALTを活用している自治体の数	14	6	8

6-(3)「請負契約」によりALTを活用している自治体における、高等学校に対するALTの活用に関する留意事項の周知状況について(都道府県集計)

外国語指導助手の請負契約による活用について(業務内容の確認及び外国語会話の奨励)(平成26年8月27日26初国教大92号)の内容について	平成29年4月以降に学校に文書により通知	平成29年4月以降に校長等管理職を対象とする会議で通知の内容を周知	平成29年4月以降に各学校の担当者を対象とする会議で通知の内容を周知	平成29年4月以降に学校へは周知していない
	2	3	11	4

6-(4)「派遣契約」によりALTを活用している自治体における、ALTの労働時間の把握状況について(都道府県集計)

派遣契約によるALTを活用している教育委員会において、ALTの労働時間の把握状況について、集計する。また、把握していない場合は、その理由をそれぞれ記入すること。

派遣契約によるALTの労働時間について	把握している	把握していない	労働時間を把握していない理由
	9	1	

6-(5)ALT等の年間活用総授業時数(平成28年度実績)

注1) 1単位時間は50分として計算すること。単位時間の計算によっては生じた小数点以下は、全て切り捨てて計算すること。

注2) (a)では、各学校の第1学年から第3学年までの全ての学級における外国語(英語)の年間総実施時数の合計を記入すること。

(b)では、(a)のうちALT等を活用した総授業時数の合計を記入すること。

注3) (a)には、外国語(英語)の授業以外(例:総合的な学習の時間の)の時間は含まないこと。ただし、外国語(英語)に関する選択科目や学校設定科目は含む。

①普通科

	(a)総実施時数の計	(b)ALT等活用総授業時数の計
ALT(※任用・契約形態は問わない)	7,214,832	674,971
留学生や、日本人で英語に堪能な地域人材		2,477
合計	7,214,832	677,448

②専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く。)

	(a)総実施時数の計	(b)ALT等活用総授業時数の計
ALT(※任用・契約形態は問わない)	1,680,000	221,533
留学生や、日本人で英語に堪能な地域人材		473
合計	1,680,000	222,006

③英語教育を主とする学科

	(a)総実施時数の計	(b)ALT等活用総授業時数の計
ALT(※任用・契約形態は問わない)	140,726	41,658
留学生や、日本人で英語に堪能な地域人材		690
合計	140,726	42,348

④国際関係に関する学科

	(a)総実施時数の計	(b)ALT等活用総授業時数の計
ALT(※任用・契約形態は問わない)	94,831	26,231
留学生や、日本人で英語に堪能な地域人材		226
合計	94,831	26,457

⑤総合学科

	(a)総実施時数の計	(b)ALT等活用総授業時数の計
ALT(※任用・契約形態は問わない)	768,596	100,338
留学生や、日本人で英語に堪能な地域人材		309
合計	768,596	100,647

7. 小学校・中学校との連携(平成29年度)

	連携している	連携していない	合計
英語教育に関する小学校・高等学校の連携	422校	2,947校	3,369校
英語教育に関する中学校・高等学校の連携	925校	2,444校	3,369校

※「連携している」場合

情報交換(指導方法等)についての校討会、合同研修の実施等	537校
交流(異校種の授業参観、高等学校の外国語担当教員による小学校や中学校での授業等)	837校
その他(以下に具体的に記入)	146校

※「その他」を選択した学校がある場合、その内容を記述する(同様の内容のものはまとめる)。

--

8. 英語の授業におけるICT機器の活用状況(29年度)

注) 英語に関する科目を担当する教員の総体として回答すること。

8-(1) 英語の授業におけるICT機器活用の有無

	平成29年度
活用した(する)	3,029校
活用しなかった(しない)	340校

(1)の平成29年度実績で、「活用した(する)」と回答した学校は、(2)及び(3)に回答すること。

8-(2) 活用したICT機器

電子黒板	パソコン	書画カメラ(実物投影)	専用タブレット	生体用タブレット	デジタルカメラ
545校	2,649校	866校	1,630校	615校	489校

デジタルビデオカメラ	TV会議システム	大型テレビ液晶ディスプレイ	プロジェクタ+スクリーン	ICレコーダー	その他
502校	59校	789校	2,447校	404校	250校

※「タブレット」には、スマートフォンを含む。

8-(3) ICT機器活用頻度等

概ね毎時活用	授業時数の半分程度活用	ほとんど活用しない
710校	1,311校	1,008校